

いきいき農業高校 第22回



北海道ニセコ高等学校

一 学校の沿革について

北海道ニセコ高等学校は、昭和二三年に北海道俱知安農業高等学校狩太分校として開校し、昭和三九年より現在の名称へ改称、平成三〇年度には開校七〇周年を迎えた。豊かな自然を基盤として農業と観光が基幹産業となっているニセコの特性を背景に、持続可能な農業と観光の未来を担う地域に根差した産業人の育成を目的とした、全国でも唯一の緑地観光科のある学校です。目的に応じて、「アグリファードコース」と「グローバル観光コース」の二つのコースを設定しています。

二 ニセコ町について

ニセコ町は、道央の西部、後志管内のほぼ中央に位置し、東に国立公園羊蹄山（一、八九八m）、北に国定公園ニセコアンヌプリ（一、三〇九m）の山岳に囲まれ

ており波状傾斜の多い丘陵盆地を形成。町の中央には尻別川（一〇〇四年清流日本一）が流れ、これに昆布川、ニセコアソベツ川、真狩川などの中小河川が流入。内陸的気候を呈し、平均気温は摂氏六・三度で、冬期の最深積雪は、一〇〇cmにも達することがある地域です。主要産業は農業と観光業で、主要農産物は豆類・水稻・馬鈴薯・ブロッコリーとなっています。



ニセコエリア特有のスキー授業

能な農業のスタイルを学びます。

また、地域のワイナリーで共同栽培からオーガニックスパークリングワインの完成までの六次化への取り組みも学習します。

さらに、酪農学園大学農場生態学研究室との冬季におけるホワイトアスパラの共同研究、ホクサン株式会社とのいちご品種「すずあかね」栽培試験など、大学や企業と連携した学習も積極的に行っています。



麗澤大学とニセコ町の調印式

三 特色ある学習活動

(一) アグリフードコースについて

環境に配慮した実践的な農業を学び、持続可能な社会の構築を目指す、農業経営者及び関連産業従事者を育成しています。コースの特性として、野菜や草花の栽培を中心に、慣行農業とともに、有機JAS認定を受けた圃場や、地中熱利用ハウス（工アハウス）を活用した持続可



筑波大学留学生への地中熱ハウスの紹介



冬季のホワイトアスパラチャレンジ



町内の企業「高橋牧場」での花壇造成

(II) グローバル観光コースについて

英語力を向上させ、異文化理解を深め、観光に関する知識・技術を身につけたグローバル人材を育成しています。コースの特性としてニセコエリアの特色を活かしたホテルやグローバル企業でのインターンシップを通して、観光業の重要性を学ぶことが挙げられます。

また、実際に多くの外国人と接することにより英語力の向上を目指します。



「ニセコワイナリー」でのブドウ収穫



東京都品川女子学院とのサステナブルな観光ツアーアーづくり



町内ホテルでのインターンシップ



5 か国語での絵本読み聞かせイベント

さらに、高大連携も盛んに行っています。今年度からは麗澤大学（千葉県）や小樽商科大学との学習を行っています。

(II) 外部との連携について

二セコ高校は町内企業や道内企業との連携事業に力を入れています。

①二セコ高校×株式会社ルピシア オリジナルティー開発プロジェクト

紅茶やフレーバードティーの販売など世界のお茶専門店であるルピシアは、二セコ町内に本社を構える企業です。二セコ高校生とルピシアで「二セコ」を代表するフレーバードティーを開発しよう！」というテーマで新商品開発が始まりました。生徒から「紅茶が苦手な人が初めて美味しいと思える商品を開発してみたい」という話があり、誰にでも飲みやすい商品を開発していく方針になりました。



ルピシア商品開発プロジェクトのメンバー



5つの試作品を眺めている様子

した。生徒・地域住民へのアンケートや試作品の試飲を通して、ペパーミントやホワイトチョコレートの香り、星形のアラザンが入った「白い雪がひんやりと舞い散る、雪の二セコ町をイメージしたフレーバードティー」というテーマの紅茶に決まりました。その後、二セコ高校オリジナルティーのネーミングを検討したところ、「masayume～まさゆめ～」に決定。この紅茶を飲んで、自分の見た夢を追い続けてほしいという意味が込められており、二〇二四年の年明け完成を予定しています。

②二セコ高校×JR北海道 スペシャルベーグル販売プロジェクト

JR北海道では二〇二三年九月一日から一四日までの期間に札幌～二セコ～函館を走行する「特急二セコ号」が運転されることになりました。そこで沿線にある二セコ高校が、高校生ならではの観光

ガイドや、生徒が育てた食材を使用した食品の車内販売を担当することになりました。グローバル観光コースの生徒は余市町・ニセコ町の街の紹介を英語で収録しました。

アグリフードコースの生徒はニセコ町の人気ベーグル店「SEED BAGEU」との共同開発を行いました。地中熱ハウス（エアハウス）で栽培した四季成りイチゴを使用したベーグル「チーズといちご」の恋ものがたり」を九月九日に六〇個、有機JAS圃場で栽培したサ



四季成りイチゴの収穫



特急ニセコ号車内での販売風景



特急ニセコ号とプロジェクトメンバー

ツマイモを使用したベーグル「キャラメルお芋」を九月一四日に七二個をそれぞれ車内販売し、即完売しました。

四 おわりに

ニセコ高校の学校教育目標は「自分の幸福な未来（well-being）の実現を通して、より良い地域を他者と協働して創造することができる人を育てる。」です。この教育目標のもとで、ニセコ町や自分の関心のある地域に対して誇りや深い思い入れをもち、世界とのつながりを意識しながら、自分自身が関わって地域を良くしていくことをする自負心を持つ「シビックプライドを持つたグローバル人材」を育てたいと考えています。そのため、好奇心を高め主体性や協働性を育む「思わず夢中になるようなワクワクする学び」の場をたくさん提供しています。